

第5学年 社会科学学習指導案

1 単元名 わたしたちの生活と工業生産 (小単元名「これからの工業生産とわたしたち」)

2 単元指導計画

次	時	主な学習内容
4	1	日本の工業生産には、伝統や中小工場の優れた技術を生かした製品づくりといった特色があることに気づき、これからの日本の工業生産が発展するために最も大切なことを考えるための単元の見通しをもつ。
	2	諸資料を通して、伝統的な工業や中小工場での工業生産に関わる人々が、優れた技術を生かして工業製品づくりをしている工夫や努力について理解する。
	3	
	4	今までの学習や諸資料を通して、日本の工業生産が抱えている課題について考える。また、日本がすでに行っている取り組みについて調べ、理解する。
	5	日本の工業生産の課題から、これからの工業生産の発展にとって大切なことは何かを既習学習や生活経験から考え、生産者や消費者の立場から多角的に考えることを通して、今後の工業生産の発展にとって大切なことを様々な立場や視点から考え判断ができる。

3 本時について (5/5)

(1) ねらい

これからの日本の工業生産の発展にとって大切なことは何か、「資源」「技術力」「環境」「願いを取り入れた製品開発」「外国との関わり」から自分が選んだ視点を基に、生産者や消費者の立場から多角的に考えることを通して、表現することができる。

(2) 評価規準

これからの日本の工業生産の発展にとって大切なことを、資料などを用いて多角的に考え、表現している。

(思考・判断・表現)

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助 (留意点)
導入	1 本時の学習内容に問題意識をもつ。 ・これまで学習した日本の工業の課題について振り返る。 輸入に頼る資源・働く人口の減少・海外移転の増加・環境問題 ・工業生産の発展について大切だと思った視点を確認する。	【ICT活用の工夫】 ・大型提示装置に資料を映しながら、前時の学習の振り返りができるようにする。
	2 学習問題を確認する。 これから日本の工業生産が発展していくためには、どんなことを大切にしていこうとよいか。	
展開	3 課題解決の見通しを立てる。 <視点>資源の確保・優れた技術力の向上・環境への配慮・ 願いを取り入れた製品開発・外国との関わり <資料>既習学習・生活経験・本・インターネット等	・これまでに学習した日本の工業の課題について資料を見ながら振り返り、見通しがもてるようにする。 ・多角的に考え深められるように、「消費者にとっても大切なことか。」「自分が大切にしていこうとは何か。」を問う。または、そのように考えている児童の考えを広める。
	4 課題解決に向けて追究する。 ・個人で追究しながら、仲間と考えを比べながら深めていく。 5 学習をまとめる。 ・本時の課題に対する自分のまとめを記述する。	
終末	例：これからの工業生産は発展していくためには、やはり資源の確保が大切だと思う。資源が無いことには製品は作れないし、私たちが買うことができない。だから、私は、資源を大切にするために、物を大切にしたい。 例：これからの工業生産が発展していくためには、私は、技術力が向上すると良い製品ができて、安心して購入してもらえるから大切だと思ったけど、〇〇さんの考えから、環境への配慮も消費者や世界中の人にとって大切なことだと分かった。私は、大人になったら環境にやさしい車に乗りたい。	【ICT活用の工夫】 ・教科書、資料集、動画など、根拠にした資料は、写真で撮影するなどして協働学習支援ツールに貼り付けておく。また、その資料を活用し、根拠として考えの説明に使用できるようにする。 ・視点・方法を使って仲間と比べて考えを深められたことを価値付ける。